

株主メモ

決算期	12月31日
定時株主総会	3月
期末配当金支払株主確定日	12月31日
中間配当金支払株主確定日	2014年9月30日(2015年以降は6月30日)
1単元の株式数	100株
公告の方法	電子公告 当社ホームページ(http://www.jti.co.jp/)に掲載 <small>※やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載</small>
株主名簿管理人・ 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 ■事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ■お問い合わせ先 郵便物送付先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-232-711(平日9:00~17:00) ■特別口座に関する手続き用紙のご請求 特別口座をご利用の株主様の住所変更、配当金振込指定・変更に必要な各用紙及び株式の相続手続依頼書のご請求は、特別口座管理機関(☎0120-244-479)で24時間承っておりますので、ご利用ください。
株式の諸手続き	口座を開設されている証券会社までお問い合わせください。

株式の諸手続きについて

証券会社でお取引をされている株主様

【お手続き、ご照会内容】

- 届出住所・氏名などのご変更
- 配当金の受取方法・振込先のご変更
- 単元未満株式の買取・売渡(買増)請求

など

口座を開設している証券会社

- 郵便物の発送/返戻に関するご請求
- 支払期間経過後の配当金
- 書類が届かない/配当金領収証の紛失等のトラブル

など

三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座をご利用の株主様

【すべてのお手続き、ご照会、お問い合わせ】

- 届出住所・氏名などのご変更
- 配当金の受取方法・振込先のご変更
- 単元未満株式の買取・売渡(買増)請求
- 郵便物の発送/返戻に関するご請求
- 支払期間経過後の配当金
- その他、株式事務に関する一般的なお問い合わせ

など

お問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
☎0120-232-711(平日9:00~17:00)

手続き用紙のご請求先

● 音声自動応答電話によるご請求
☎0120-244-479(24時間)

日本たばこ産業株式会社

〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル
TEL 03-3582-3111 <http://www.jti.co.jp/>

この業績報告書は森林保護につながる
FSC® 認証紙を使用するとともに、
植物油インキを使用しています。



株主・投資家の皆さまへ

業績報告書



2013年度第4四半期累計実績



JT TOPICS



JTグループ商品のご紹介



CLOSE UP!(JTグループ企業・事業部紹介)



JT NEWS



旅路の先で出会う温故知新



厳しい事業環境の中、コミットメントを達成し、過去最高益をマーク



代表取締役社長
小泉 光臣

2013年度実績

2013年度は、海外たばこ事業におけるトップライン成長、国内たばこ事業におけるシェア伸長等が牽引し、全ての指標で前年同期を上回る実績となりました。この結果、過去最高益を更新し、全社利益指標として「中長期に亘るmid to high single digit成長」をお約束している「為替一定ベースの調整後EBITDA」についても対前年7.5%の成長となりました。

海外たばこ事業は、主要市場であるロシアや欧州での総需要減少等、厳しい事業環境の中、着実なシェア伸長と単価上昇効果により為替一定ベースの調整後EBITDA (USドルベース)は11.3%と、二桁成長を続けています。

国内たばこ事業は、MEVIUS(メビウス)など注力ブランドが牽引し、シェアが対前年1.4%ポイント伸長し61.0%となるなど、力強い結果となりました。

医薬事業は、これまでの研究開発が実を結び、一昨年の「JTK-303」の承認以降、順調に新薬の上市を達成しています。

飲料、加工食品事業につきましても、将来の利益貢献につながる基盤強化に向けた投資を着実に実施しています。

調整した実態ベースでは、為替一定ベース調整後営業利益対前年6.0%成長を見込んでいます。

また、株主還元につきましては、変則決算期においても、年間一株当たり配当金を4円増配の100円といたします。

中長期目標については、引き続き、為替一定ベースの調整後営業利益で「中長期に亘る年平均mid to high single digit成長」を、為替一定ベースの調整後EPSで「中長期に亘る年平均high single digit成長」を掲げてまいります。また、株主還元については、「50%を下限として、Global FMCGに比肩する水準を目指す」との方針のもと、まず、2015年度に連結配当性向50%の達成を目指してまいります。

今後も厳しい事業環境が継続していくものと考えています。一方で、事業投資を最優先し、中長期に亘る利益成長を成し遂げてきた実績にも自信を持っています。今後も、「4Sモデル」という不変の考え方とともに、「変化への対応力」にさらに磨きをかけ、将来起こるであろうさまざまな変化をチャンスと捉え、持続的な利益成長を図ってまいります。

経営計画2014

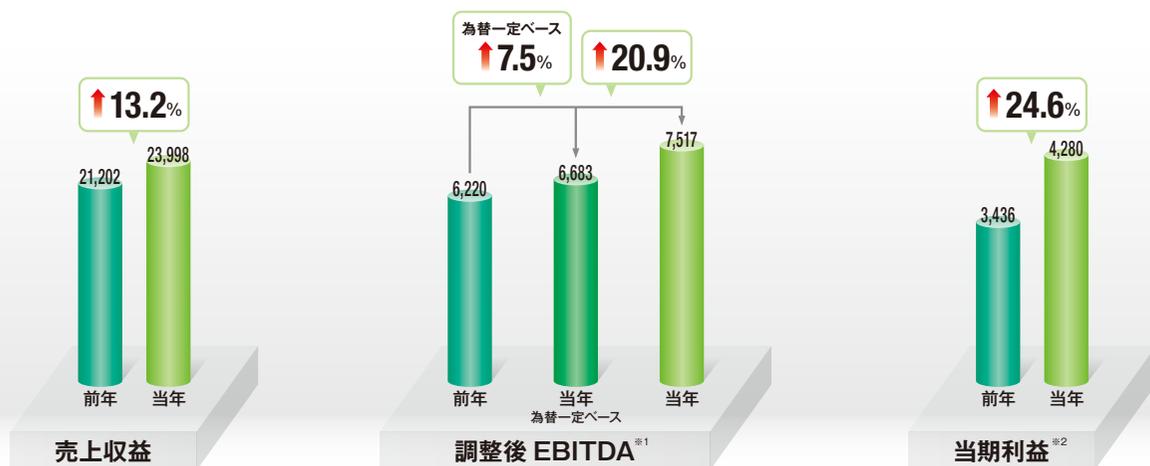
2014年度については、国内9ヶ月、海外12ヶ月を連結する「変則決算」となります。また、主要経営指標について、これまでの調整後EBITDAから、調整後営業利益に変更いたします。これにより、各年の事業投資による「減価償却費等」を認識した上で、事業投資及びそのリターンをより適切に管理してまいります。

2013年度、2014年度ともに「1-12月の12ヶ月ベース」に調

2013年度

第4四半期累計実績

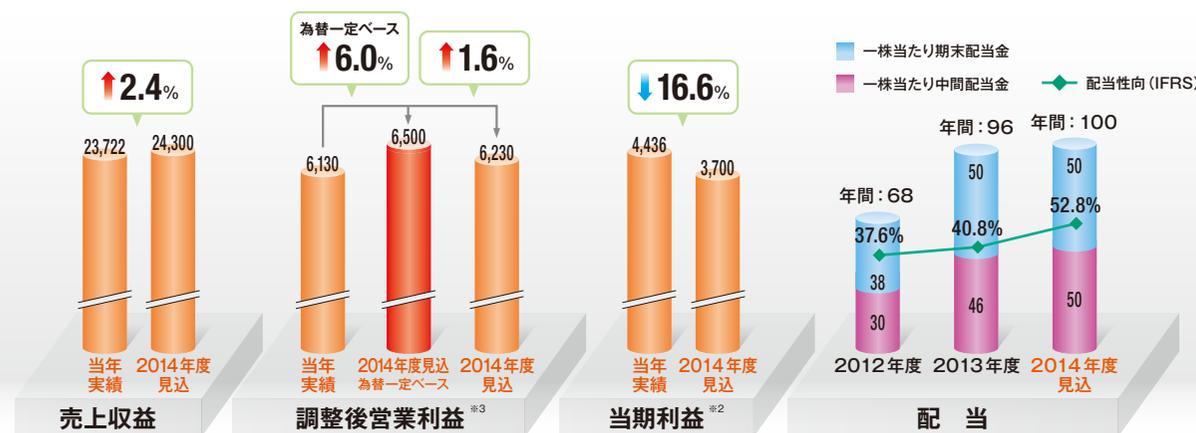
(単位: 億円)



※1 調整後 EBITDA = 営業利益 + 有形固定資産の減価償却費 + 無形資産の償却費 ± 調整項目 (収益及び費用)
 ※調整項目 (収益及び費用) = のれんの減損損失 ± リストラチャリング収益及び費用等
 ※2 親会社所有者に帰属

2014年度通期見込 (1-12月ベース)

(単位: 億円)



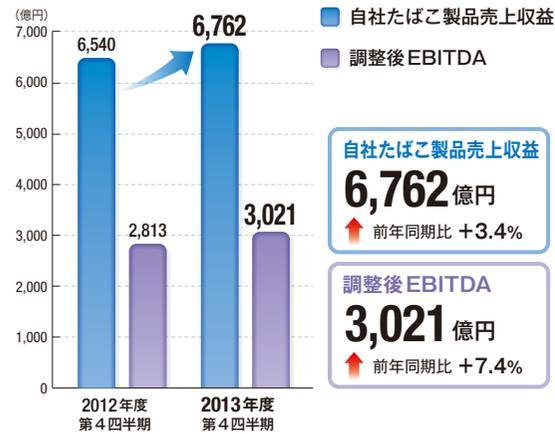
※3 調整後営業利益 = 営業利益 + 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費 + 調整項目 (収益及び費用)
 ※調整項目 (収益及び費用) = のれんの減損損失 ± リストラチャリング収益及び費用等

国内 たばこ事業

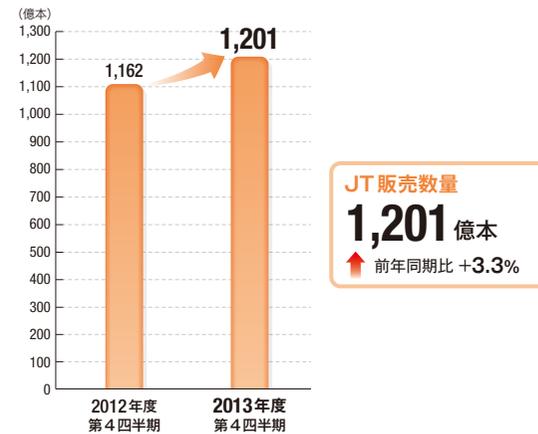
シェア伸長、消費税増税前の仮需を
ほぼ想定通り取り込み利益成長達成

MEVIUS(メビウス)を中心とした注カブランドの貢献が継続し、シェアは前年同期比1.4%ポイント増の61.0%となりました。販売数量については、シェア増に加え、2014年4月の消費税増税前の仮需影響から前年同期比3.3%増となりました。この結果、売上収益は増収、調整後EBITDAは増益となりました。

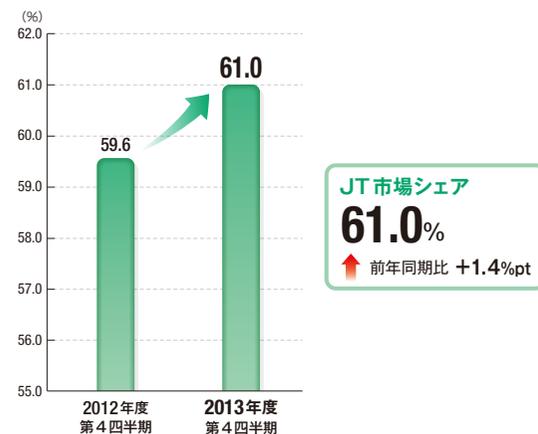
国内たばこ事業実績



JT 販売数量実績

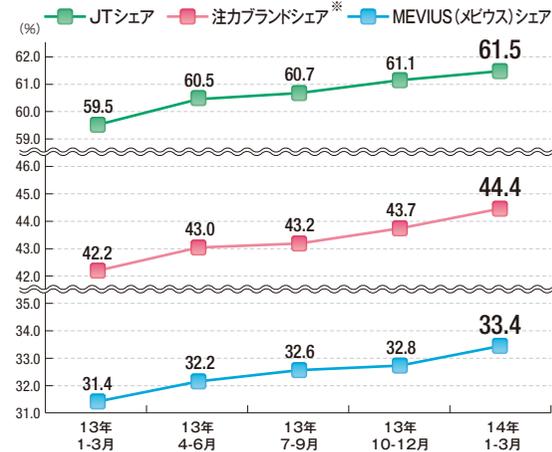


JT 製品の市場シェア



※ %ptは、パーセントポイントの略

JT製品及びMEVIUS(メビウス)の市場シェア



※注カブランド：メビウス、セプンスター、ピアニッシモ

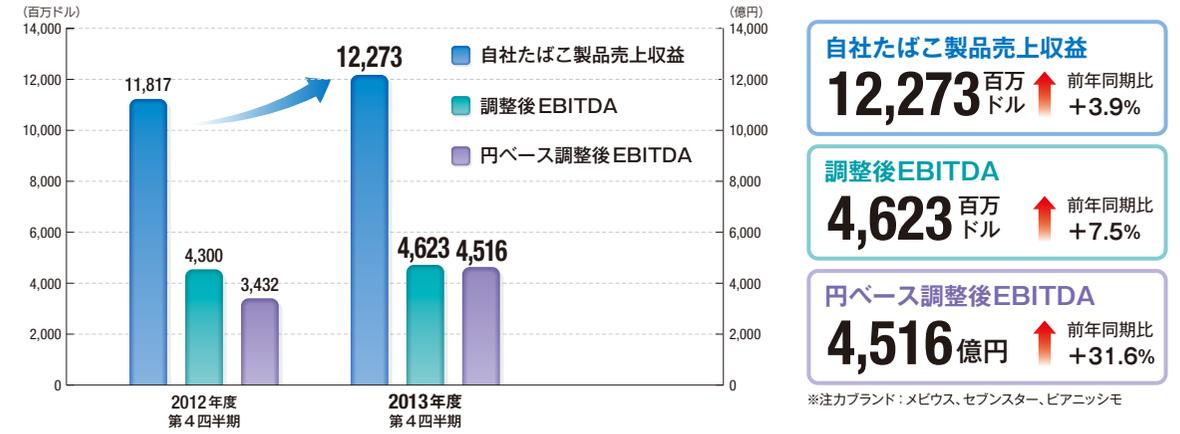
海外 たばこ事業

トップライン成長が牽引し、二桁利益成長を達成

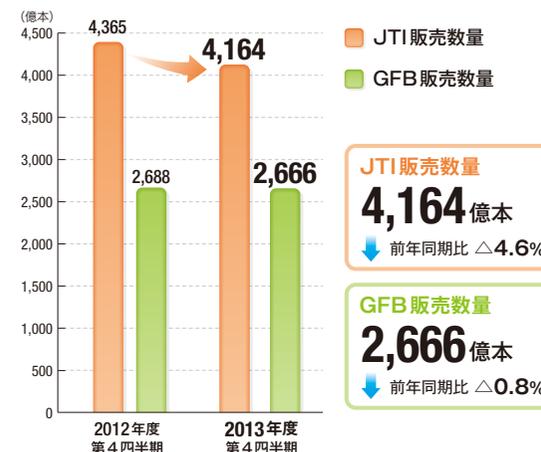
ロシアや欧州での総需要減少に加え、中東における不安定な事業環境等の影響がある中、主要市場でのシェア伸長及び着実な単価上昇効果により、為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益、調整後EBITDAはそれぞれ前年同期比6.1%、11.3%成長となりました。円ベース調整後EBITDAは31.6%成長となりました。

海外たばこ事業実績

※海外たばこ事業については、2013年1月～12月実績



海外たばこ事業販売数量実績



主要市場シェア

	2012年12月	2013年12月	増減
フランス	17.6%	20.1%	+2.5%pt
スペイン	20.3%	20.9%	+0.6%pt
イタリア	21.4%	21.6%	+0.2%pt
ロシア	36.4%	36.3%	△0.1%pt
(うちGFB ¹ シェア)	21.9%	23.2%	+1.3%pt
台湾	38.9%	39.4%	+0.5%pt
トルコ	26.3%	26.7%	+0.4%pt
英国	39.3%	40.7%	+1.3%pt

*1 JTグループのブランドポートフォリオの中核を担う「ウィンストン」「キャメル」「MEVIUS(メビウス)」「ベンソン・アンド・ヘッジス」「シルクカット」「LD」「ソプラニー」「グラマー」の8ブランドのこと

※出典：Nielsen, Logista, Altadis

※%ptは、パーセントポイントの略

医薬事業

既導出品の開発進展、販売拡大による収益改善が継続

売上収益につきましては、既導出品の開発進展に伴う一時金収入の増加や販売拡大に伴うロイヤリティ収入の増加、また、鳥居薬品において、2014年4月の消費税増税前の一時的な需要増もあり「レミッチカプセル（血液透析患者における経口そう痒症改善剤）」「ツルバダ配合錠（抗HIV薬）」等が伸長したことにより、前年度比113億円増収の644億円となりました。調整後EBITDAにつきましては、売上収益の増加等により73億円改善し、54億円のマイナスとなりました。

医薬事業 臨床開発品目一覧 (2014年4月24日現在)

自社開発品

開発名 (一般名など)	想定する 適応症/剤形	開発 地域	開発段階					備考
			Phase1	Phase2	Phase3	申請	承認	
JTK-303 (elvitegravir)	HIV感染症/経口	国内	単剤(申請準備中)					自社品
		国内	新規配合錠(国際共同治験) (elvitegravir/cobicistat/emtricitabine/ tenofovir alafenamide)					
JTT-851	2型糖尿病/経口	国内	→					自社品
		海外	→					
JTZ-951	腎性貧血/経口	国内	→					自社品
		海外	→					
JTE-051	自己免疫・アレルギー疾患/経口	海外	→					自社品
JTE-052	自己免疫・アレルギー疾患/経口外用	国内	→					
JTE-151	自己免疫・アレルギー疾患/経口	海外	→					自社品
JTE-350** (ヒスタミン2受容体拮抗薬)	アレルギー皮膚テスト実施時の陽性コントロール/ 注射剤	国内	(申請準備中)					
JTT-251	2型糖尿病 /経口	海外	→					自社品

(注) 開発段階の表記は投薬開始を基準とする

* Gilead Sciences 社の国際共同治験に参画

**厚生労働省主催の「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」において開発企業の募集が行われた品目

導出品

一般名等 (当社開発番号)	導出先	備考
elvitegravir (JTK-303)	Gilead Sciences 社	(適応: HIV感染症) 単剤: 米国 申請中 新規配合錠: Phase 3 (elvitegravir/cobicistat/emtricitabine/tenofovir alafenamide)
trametinib	GlaxoSmithKline 社	(適応: メラノーマ) 欧州 申請中
抗ICOS抗体	MedImmune 社	

前回公表時(2014年1月30日)からの変更点

<自社開発品> ・JTT-251 新規臨床入り(海外Phase1) ・JTE-052 想定する剤形の追加(外用) ・JTE-350 申請準備中へ移行

<導出品> ・MEK阻害剤 trametinib/dabrafenib併用療法(メラノーマ適応)につき、GSK社が欧州医薬品庁(EMA)への申請取下げを公表(2014年3月26日)

飲料事業

自社販売数量が増加

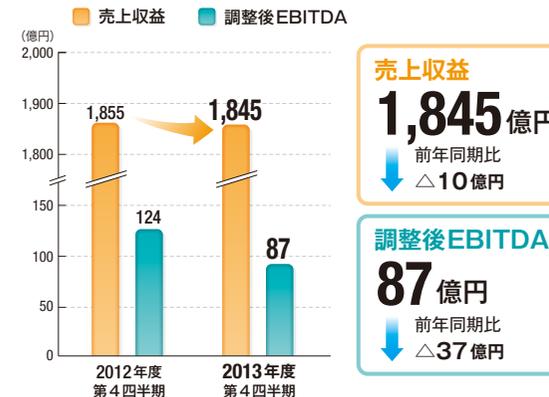
加工食品事業

ステープル(主食)の伸長により増収・増益

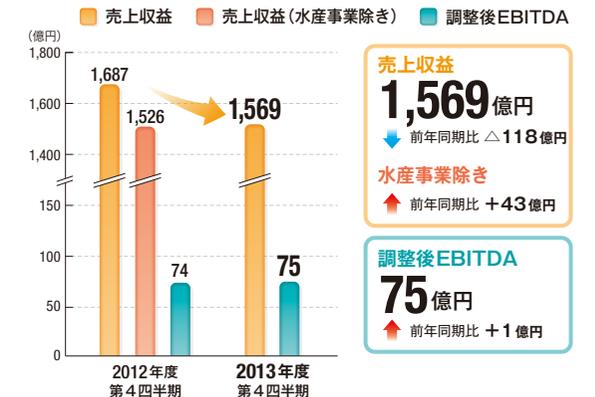
飲料事業においては、当社製品の販売数量の増加はあったものの、自販機販路における減収により、売上収益は、前年度比10億円減収の1,845億円となりました。調整後EBITDAにつきましても、減収影響に加え、質の高い自販機オペレーションのさらなる強化やブランド力強化に向けた費用の増加等により、前年度比37億円減益の87億円となりました。

加工食品事業においては、ステープル(主食)商品の伸長はあったものの、2012年12月に事業を停止した水産事業の売上収益減少の影響等により前年度比118億円減収の1,569億円となりました。なお、水産事業撤退影響を除く売上収益につきましては、前年度比43億円増収となります。調整後EBITDAにつきましては、円安に伴う原価上昇はあったものの、ステープル商品の伸長等により、前年度比1億円増益の75億円となりました。

飲料事業実績



加工食品事業実績



将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、次のような事項を挙げることができます(なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

- ① 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- ② たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、国産たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- ③ 国内外の訴訟の動向
- ④ 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- ⑤ 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- ⑥ 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化及び需要の減少
- ⑦ 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- ⑧ 国内外の経済状況
- ⑨ 為替変動及び原材料費の変動
- ⑩ 自然災害及び不測の事態等

連結財務諸表

連結財政状態計算書

(単位：百万円)

科目	前年度 (2013年3月31日)	当年度 (2014年3月31日)	増減金額
資産			
流動資産	1,213,146	1,484,391	271,245
非流動資産	2,639,421	3,127,053	487,632
有形固定資産	672,316	779,987	107,671
のれん	1,316,476	1,584,432	267,956
無形資産	348,813	385,101	36,288
投資不動産	58,995	61,421	2,427
退職給付に係る資産	14,825	16,530	1,705
持分法で会計処理されている投資	22,940	106,107	83,167
その他の金融資産	71,781	92,596	20,815
繰延税金資産	133,276	100,880	△32,396
資産合計	3,852,567	4,611,444	758,877

※記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

(単位：百万円)

科目	前年度 (2013年3月31日)	当年度 (2014年3月31日)	増減金額
負債及び資本			
負債			
流動負債	1,112,968	1,250,512	137,544
非流動負債	847,168	764,842	△82,327
負債合計	1,960,137	2,015,354	55,217
資本			
親会社の所有者に帰属する持分	1,806,543	2,505,610	699,067
資本金	100,000	100,000	—
資本剰余金	736,411	736,400	△11
自己株式	△344,573	△344,463	110
その他の資本の構成要素	△155,420	251,107	406,527
利益剰余金	1,470,125	1,762,566	292,441
非支配持分	85,887	90,481	4,593
資本合計	1,892,431	2,596,091	703,660
負債及び資本合計	3,852,567	4,611,444	758,877

※記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

point 1 流動資産

現金及び現金同等物並びに棚卸資産の増加により、増加しました。

point 2 のれん

為替影響により増加しました。

point 3 その他の資本の構成要素

為替影響により増加しました。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前年度 (2012年4月1日～ 2013年3月31日)	当年度 (2013年4月1日～ 2014年3月31日)	増減金額
売上収益	2,120,196	2,399,841	279,645
売上原価	△899,437	△979,975	△80,537
売上総利益	1,220,759	1,419,866	199,108
その他の営業収益	42,165	55,634	13,469
持分法による投資利益	2,775	1,702	△1,074
販売費及び一般管理費等	△733,486	△828,942	△95,457
営業利益	532,213	648,260	116,047
金融収益	5,493	8,351	2,858
金融費用	△28,351	△20,408	7,942
税引前利益	509,355	636,203	126,848
法人所得税費用	△157,907	△200,912	△43,004
当期利益	351,448	435,291	83,843
当期利益の帰属			
親会社の所有者に帰属する当期利益	343,596	427,987	84,391
非支配持分に帰属する当期利益	7,852	7,304	△548
当期利益	351,448	435,291	83,843

※記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

科目	前年度 (2012年4月1日～ 2013年3月31日)	当年度 (2013年4月1日～ 2014年3月31日)	増減金額
当期利益	351,448	435,291	83,843
その他の包括利益	192,959	414,970	222,011
当期包括利益	544,407	850,261	305,854
当期包括利益の帰属			
親会社の所有者に帰属する当期包括利益	536,119	842,867	306,748
非支配持分に帰属する当期包括利益	8,288	7,394	△894
当期包括利益	544,407	850,261	305,854

※記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前年度 (2012年4月1日～ 2013年3月31日)	当年度 (2013年4月1日～ 2014年3月31日)	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	466,608	396,496	△70,112
投資活動によるキャッシュ・フロー	△147,928	△163,473	△15,545
財務活動によるキャッシュ・フロー	△569,473	△145,189	424,284
現金及び現金同等物の増減額	△250,793	87,834	338,627
現金及び現金同等物の期首残高	404,740	142,713	△262,028
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	△11,235	22,672	33,906
現金及び現金同等物の当期末残高	142,713	253,219	110,506

※記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

point 4 売上収益

海外たばこ事業における単価上昇効果及び円安影響、国内たばこ事業におけるシェア伸長や増税前の仮需影響により増収となりました。

point 5 営業利益

売上収益の増加に加え、固定資産売却益の増加により増益となりました。

point 6 投資活動によるキャッシュ・フロー

ロシア大手物流会社への出資による支出があり、減少しました。

point 7 財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金の返済が相対的に減少したことに加え、今期は自己株式取得による支出、社債の償還による支出がないことから増加しました。

株主優待商品の発送について

JTでは株主の皆さまに、当社グループ商品のご利用を通じて、当社グループの事業をより一層ご理解いただきたいとの思いから、株主優待制度を実施しております。

2014年3月31日現在、当社株式100株以上保有の株主様に、保有株式数に応じてご希望の優待商品を贈呈させていただきます。

なお、株主優待のお申し込みにつきましては、6月23日をもって締め切らせていただいておりますが、お申し込みをご希望の株主様は、お早めに下記の「JT株主優待事務局」へご連絡いただきますようお願いいたします。



※優待商品の写真は、3,000円相当の商品の一部をイメージとして掲載しております。

なお、株主優待商品につきましては、2014年3月31日現在の株主名簿にご登録のご住所宛てにお届けいたしますので、4月以降にお引越等により住所変更がある場合は、下記の「JT株主優待事務局」へご連絡ください。

あわせて、口座を開設されている証券会社様にて住所変更のお手続きをお願いいたします。

特別口座をご利用の株主様につきましては、特別口座管理機関であります三菱UFJ信託銀行株式会社にてお手続きをお願いいたします。

JT 株主優待事務局 ☎ 0120-791-187

(商品発送代行：株式会社ジェイティクリエティブサービス) 受付時間／平日 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

たばこ新商品紹介

香り濃く、味深い「完熟葉」に込めた国内No.1銘柄^{*}の美学

「セブンスター・メンソール」 3銘柄を全国発売

価格：各460円(20本入)

* TIOJ 上位20銘柄別販売実績(2012年度)

新発売

Seven Stars

セブンスター・
メンソール・12・ボックス

タール値：12mg / ニコチン値：0.9mg

セブンスター・
メンソール・8・ボックス

タール値：8mg / ニコチン値：0.7mg

セブンスター・
メンソール・5・ボックス

タール値：5mg / ニコチン値：0.5mg

「セブンスター」は、“しっかりと吸い応え・深い味わい”を特徴とするブランドです。今回新たに発売する「セブンスター・メンソール」3銘柄は、一般的な葉たばこに比べ特に熟度が進んだ希少な原料である“完熟葉”をブレンドしています。その特徴である香ばしい濃厚な香り立ち、キレのある味わいと豊かな煙量感が、たばこの味・香りに一層深みを与えるとともに、メンソールの旨さを引き立てています。

パッケージは、「セブンスター」のデザインをベースに、際立つメンソールの旨さとしっかりしたたばこの味わい・コクを深みのある“グリーン”で、希少な完熟葉の持つ上質な味わいを“ゴールド”で表現し、風格と輝きを高めています。

担当者コメント

今回の新商品は、長年「セブンスター」をご愛顧いただいているお客様を含め、より幅広いお客様に手に取っていただける「本格派メンソールたばこ」です。

完熟葉を使用することで「濃厚な香り立ち」「キレのあるたばこ感」「豊かな煙量感」を実現しました。

今後も、お客様の多様なニーズにお応えできるよう、新たな価値・満足を継続的に提供してまいります。

JT たばこ事業本部
マーケティング&セールスグループ
ブランド企画部
谷口吉宏



※このページは株主の皆さまに事業を説明する目的で作成されたものです。お客様へのたばこの販売促進もしくは喫煙を促す目的ではありません。



新発売

- ▶ 盛夏期にぴったりの贅沢なゴールデンパインドリンク
- ▶ 果肉が沈まない特別な製法で仕上げました

果実体感 きざみパイナップル

375g ボトル缶/150円 (消費税別)

担当者コメント

贅沢「きざみ果肉」入りで果実感たっぷり、ゴールデンパイナップルを厳選使用した盛夏期にぴったりの華やかで甘く爽やかなパインドリンクを発売します。果肉が沈まない工夫で(※特許取得)、ひとくちごとにパイナップル果肉の食感が楽しめます。贅沢な果実感をお楽しみください!



JT 飲料事業部 商品開発部 岡田健太郎



イオン商品!

- ▶ 人工甘味料、保存料、着色料不使用!
- ▶ こだわりの品質とおいさを伝えるパッケージへ

桃の天然水

490ml ペットボトル/140円 (消費税別)



イオン商品!

- ▶ 香味の特長をしっかりと伝えるデザインへリニューアル
- ▶ 新焙煎方法の採用で、さらに香り高く!

ルーツ アロマブラック

300g ボトル缶/130円 (消費税別)

新発売



冷涼麺一番 冷たいラーメン

1食入/320g



- ▶ お湯を沸かさず、氷を使わずに冷たい麺をお手軽に
- ▶ あっさり風味のスープとコシのある麺を楽しめます

担当者コメント

全く新しい調理方法による新商品の発売です。調理時間はたったの2分。凍ったスープを溶かしながら冷やす、独自技術の具付き麺です。鶏の旨みを活かした醤油スープに、ゆず果汁のさわやかな香りを加えました。あっさりしているのにコクのあるスープと、コシの強い麺がよく合います。

テーブルマーク(株) 商品開発部 高橋良輔



- ▶ 衣はサククリ、ささみはふんわり。自然解凍OKの簡単調理
- ▶ 彩りキレイな梅肉としその葉で上品なお弁当を演出します

新発売

若鶏ささみの梅しそ竜田揚げ

6個入/108g



- ▶ 米どころ魚沼の自然に育まれた水でふっくら炊きあげました
- ▶ 買い置きに便利な10食入。常備食としても人気です

新発売

たきたてご飯 ふっくらつや炊き 10食

10食入/1,800g (180g × 10食)

富士食品工業株式会社

食品事業の中核として 「日本の新しい味づくり」に挑戦し続ける

「世界の食文化と一人ひとりの笑顔のために」という基本理念のもと、JTグループ食品事業およびテーブルマークグループ調味料事業の中核を担う富士食品工業(株)。今回は新たな切り口で躍進を続ける調味料事業の取り組みを紹介します。



富士食品工業株式会社
代表取締役社長 小松信一

富士食品工業は、1958年(昭和33年)の創業以来、味づくりのベースとなる各種調味料の開発・販売を手がけ、「オイスターソース」「ジェントリースープ」をはじめとした一般消費者向け商品に加えて、プロフェッショナル仕様の業務用調味料で、食品業界に確固たる地位を築いてまいりました。

2008年4月には日本たばこ産業株式会社(JT)と資本業務提携し、グループ企業となりました。その結果、富士食品工業の従来からの強みである中華系調味料と、テーブルマークが誇る酵母エキスをはじめとする基礎調味料が融合し、商品とお客様の幅が広がりました。今後も、あらゆる“食”のシーンに今までにない調味料を提供し、皆様の食卓を豊かすることを目標に、美味しさと品質を追求してまいります。

■ 「オイスターソースのパイオニア」として

富士食品工業は、「固形スープ」「麺用粉末スープ」「オイスターソース」を国内で初めて製品化するなど、日本の食のパイオニアとして常に時代をリードしてきました。

特に家庭用オイスターソースは、来年で40周年を迎える看板商品であり、国産の良質な牡蠣エキスを使用した「オイスターソース 極」をはじめ、中華調味料市場を牽引しています。



オイスターソース

オイスターソース 極

香龍 シャンロン 中華味付けの素

ジェントリースープ(全種)

富士食品工業株式会社

本社所在地	神奈川県横浜市港北区大豆戸町94
代表者	代表取締役社長 小松信一
設立	1958(昭和33)年8月1日
資本金	3,735万円
従業員数	約400名



本社



静岡金谷工場 液体棟



静岡金谷工場 粉体棟

■ 世界規模で、生産力・販売力を強化

1982年のFuji Foods Inc. グリーンズボロ工場(米国ノースカロライナ州)設立を皮切りに、世界各地に生産・販売拠点を設立。現地において原料調達・生産・販売を独自に展開し、グループ全体の生産力と販売力を強化しています。

特に、醗酵技術を基盤として原料優位性を活かすタイ国で生産している酵母エキスは、日本だけにとどまらず、世界各国で販売を展開しています。食品素材の酵母エキスは天然志向の強い海外でも評価が高く、食品業界で注目を集めています。世界的販売拡大を目指し、2012年には海外販売部門を新たに立ち上げました。天然素材の“旨味”が、世界の食卓へ届けられています。



1 タイフーズインターナショナル



2 富士食品工業(蘇州)有限公司



3 Fuji Foods Inc. グリーンズボロ工場



4 Fuji Foods Inc. パーリントン工場

富士食品工業の豆知識

これまで外食業界向け商品は、ラーメンスープ等の中華系を中心としてきましたが、2014年春夏商材として「洋食房」を新発売。イタリアンレストランなどへの販路を広げています。



日本たばこアイメックス株式会社

特殊たばこを通じ、日本のたばこ文化の継承とすそ野の拡大を目指す

日本たばこアイメックス(株)では、パイプたばこ・葉巻たばこといったシガレット以外の特殊たばこ商品の輸入販売、海外メーカーへの製造委託を展開しています。また、近年では日本伝統のキセルで吸う「細刻みたばこ」の卸売販売、喫煙具の販売を開始し、たばこ文化の継承に努めています。



日本たばこアイメックス株式会社
総務部長 油谷聡之

日本たばこアイメックス株式会社

本社所在地

東京都渋谷区南平台町5-1 日本たばこ渋谷ビル5F

代表者

代表取締役社長 蒲地 光

資本金

5,000万円

設立

1987(昭和62)年8月3日

従業員数

11人、その他営業嘱託社員11人
(2014年4月1日現在)

日本たばこ
渋谷ビル



日本たばこアイメックスは、1987年(昭和62年)の創立当初から、海外原料葉たばこの輸出入事業を営んできました。

JTがシガレット以外のたばこの国内製造を中止したことに伴い、それまでJTが製造していた「キース」「飛鳥」「桃山」をはじめとする特殊たばこブランドを2004年に移管。パイプたばこ・葉巻たばこ等の製造委託にも力を入れ、再スタートを切りました。

現在は、JTの旧特殊たばこ銘柄を自社製品として海外へ製造委託して販売。その他取り扱い銘柄については、ディストリビューターとして海外のブランドを輸入・販売しています。

■ 温故知新——時代変化を捉えた「変えてはいけないもの」の見極め

2009年からは、特殊たばこの持つ文化性に着目し、その文化維持・継承活動にも注力しています。たばこ以外の文化とコラボレーションした訴求活動を実施しており、その反響は、喫煙者・非喫煙者を問わない広がりを見せています。また、特殊たばこの道具の面白さ、喫煙の仕草にも興味を持ってもらえるよう、喫煙具ビジネス(「SMOKE & COMPANY」ブランド)にも参入しています。

■ たばこの「新しい楽しみ」を提案

特殊たばこ文化をはじめとし、日本の伝統・文化に気軽に触れることのできる場として、サロンスペースと飲食スペースをあわせ持ったコンセプトショップ「IKI-BA」(粋場)をプロデュースしています。東京・原宿の街で、「日本の『粋』の精神をより一層探求し、新しい価値観を創造する」ことを目指した、日常的に老若男女が集まり語り合うことのできる場となっています。

日本たばこアイメックスは、現代人が忘れがちな「ゆとり」と「豊かさ」の精神を、特殊たばこ喫煙具を通して提供しています。



日本の「粋」の精神を探求する「IKI-BA」(粋場)



日本の伝統的なモノ、たばこ以外のモノもディスプレイ



「IKI-BA」のサロンスペース



国産在来種をブレンドした日本発のプレミアムシガー「トキ」の限定品「トキ・ロブスト」。

1978年から2001年まで発売されていた、メープルチョコレートの甘く吸いやすい喫味が人気だったシガレットを、リトルシガーの形で復活させた「ジョーカー・カオス」など、特殊たばこの新商品も続々登場しています。

トキ・ロブスト
1,860円/1本

ジョーカー・カオス
500円/20本入

バレーボール「2013/14 V・プレミアリーグ」開幕



たくさんのご声援ありがとうございました!

日本バレーボール界のトップチームが頂点を争う「V・プレミアリーグ」で準優勝したJTサンダーズ。5月1～6日に開催された「第63回黒鷲旗大会」でも準優勝。いずれも優勝にあと一歩及びみせましたが、ベテランから若手、さらに新戦力がうまく融合して好成績をおさめることができ、充実したシーズンとなりました。

JTサンダーズ



来シーズンのさらなる飛躍に期待!

今シーズン、10年ぶりに「V・プレミアリーグ」ファイナルラウンド(優勝決定戦)のコートに帰ってきたJTサンダーズは、初優勝をかけてパナソニックパンサーズとの大一番に臨みましたが、セットカウント2-3で敗戦。惜しくも準優勝となったものの、来シーズンのさらなる飛躍を期待できるリーグでの戦いとなりました。

また、「第63回黒鷲旗全日本男女選抜バレーボール大会」でも準優勝。3戦全勝でグループ戦を突破したJTサンダーズは、準々決勝の豊田合成トレフェルサ戦を3-0で快勝すると、勢いそのままに準決勝の堺ブレイザーズ戦もストレートで勝利。決勝戦では、リーグ戦のファイナルラウンド同様、パナソニックパンサーズと対戦。リベンジはならなかったものの、2010年以来の準優勝を果たしました。



今シーズンの「V・プレミアリーグ」で活躍した選手へ贈られる「個人賞」には越川優選手、酒井大祐選手、奥村麻依選手が選出!

JTサンダーズの越川優選手が「敢闘賞・ベスト6賞・サブ賞・Vリーグ日本記録賞」、酒井大祐選手が「レシーブ賞・Vリーグ栄誉賞」、JTマーヴェラスの奥村麻依選手が「最優秀新人賞・ブロック賞」を受賞しました。



越川優選手

みんながいて、準優勝という結果があってこそ個人賞だと思いますし、他のみんなも取れる力は持っています。酒井さんと2人、たまたま僕たちが代表でもらったという気持ちです。今後も、個人賞でいえばMVPを取れるチーム成績を残せるよう、頑張っていきます。



酒井大祐選手

レシーブ賞の受賞はとても光栄です。ただ、個人的には決勝の舞台で戦えたことが、個人賞よりも大きかったです。本当に成長が問われるのは次のシーズンだと思いますが、今リーグでの反省や課題を全員がしっかりと踏まえ、成長の証をお見せしたいですね。



奥村麻依選手

ブロック賞も最優秀新人賞もいただけるとは思ってなかったので、驚いています。シーズン中は楽しいことばかりではなかったけれど、当たり前のことを最後までちゃんとやろうと決めて戦いました。V・プレミアリーグという憧れの舞台での受賞は本当にうれしいです。

JTマーヴェラス



この経験を糧に、次なる戦いへ!

今シーズンのレギュラーラウンドを7位で終えたJTマーヴェラスは、「V・チャレンジマッチ」(リーグ入れ替え戦)で上尾メディックスと対戦。「V・プレミアリーグ」への残留をかけて戦いましたが、惜しくも敗れてしまいました。多くの

故障者を抱えるなど、万全な体制ではない中で戦い続けた選手たちですが、1年での「V・プレミアリーグ」復帰を目指して、次なる戦いに挑んでいきます。

「第63回黒鷲旗大会」では、グループ戦を突破。準々決勝の日立リヴァーレ戦ではフルセットの激闘の末に敗れ、ベスト8となりました。

花巻市総合文化財センター **〔岩手県〕**葉たばこ生産地に残された資料から
その土地の文化的背景をうかがい知る

岩手県花巻市の大迫地区は、古くからの葉たばこ産地です。同地で平成23(2011)年に開館した「花巻市総合文化財センター」は、花巻市内に分散して保管されていた埋蔵文化財資料を一カ所に集約し、恒久的な収蔵保管や調査研究、整理作業等を行い、市内文化財の情報発信や保護の拠点施設としての機能を果たしています。

「花巻市総合文化財センター」には、かつて大迫にあった「山岳博物館」に展示されていた登山用具や国際交流の歴史に関する貴重な資料、そして平成21(2009)年にユネスコの無形文

化遺産にも登録された大迫に伝わる民俗芸能「早池峰神楽」に関する資料・映像が展示・公開され、同地の奥深い歴史がうかがい知れます。また大迫において欠かすことができない葉たばこ生産に関する資料も展示されており、平成25(2013)年には、かつて同地でのみ耕作され、日本で唯一の葉巻の原料として有名だった葉たばこ「南部葉」に関する特別展が催されました。

葉たばこ産地ならではの展示物から、その土地の歴史・文化的背景を多角的に知ることができる資料館です。



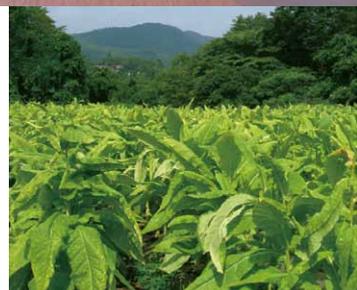
「早池峰神楽」の舞で用いる面や楽器などの展示



「南部葉」の収穫・乾燥後の「葉のし作業」を再現



平成25年の特別展におけるたばこ耕作に関する展示

岩手県花巻市
大迫のたばこ畑
(バーレー種)

大迫は早池峰山の登山口であり、夏期には数多くの登山客が訪れる山間の小さな町です。しかし、江戸期には金の採掘で知られるようになり、小さな町でありながら、さまざまな人たちが集まり発展していった歴史ある土地です。

早池峰山の山岳信仰をルーツとする早池峰神楽は、岳(だけ)と大償(おおつぐない)の二地区で伝承され、数多くの人たちが見学に訪れます。また江戸期からたばこの耕作が行われている大迫は、現在もシガレットの原料に欠かせないバーレー種が生産されています。

■ 花巻市総合文化財センター

所在地/〒028-3203 岩手県花巻市大迫町大迫第3地割39番地1

お問い合わせ先/0198-29-4567

開館時間/午前9時から午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日/年末年始(12月28日から1月3日)

入館料/一般 200円

小・中・高校生 100円

<https://www.city.hanamaki.iwate.jp/bunkasports/501/503/p004426.html>

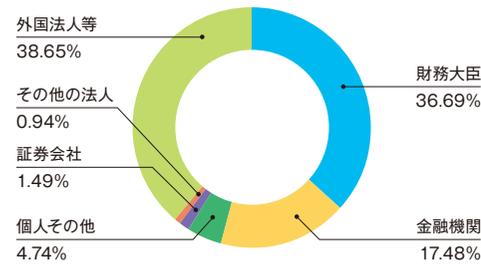
会社概要

商号	日本たばこ産業株式会社	設立	1985年(昭和60年)4月1日
本社所在地	〒105-8422 東京都港区虎ノ門二丁目2番1号 JTビル	資本金	1,000億円
	TEL. (03) 3582-3111 (代表) FAX. (03) 5572-1441		

株式の状況

2014年3月31日現在

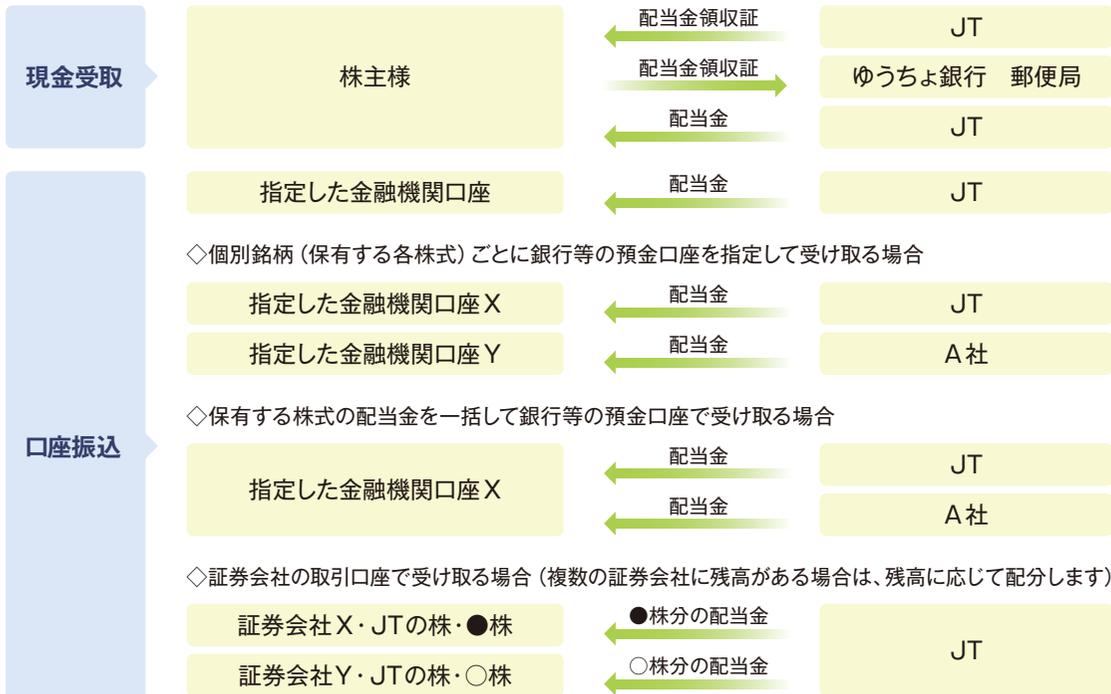
所有者別構成比(自己株式を除く)



発行可能株式総数	8,000,000,000株
発行済株式の総数 (自己株式 182,451,988株)	2,000,000,000株
株主数	134,059名

配当金のお受け取り方法

口座振込をご選択いただきますと安全かつ確実に配当金をお受け取りいただけます。



※特別口座をご利用の株主様はご利用できません

役員

取締役

取締役会長	丹呉 泰健
代表取締役社長	小泉 光臣
代表取締役副社長	新貝 康司
代表取締役副社長	大久保憲朗
代表取締役副社長	佐伯 明
取締役副社長	宮崎 秀樹
取締役	岡 素之
取締役	幸田 真音

監査役

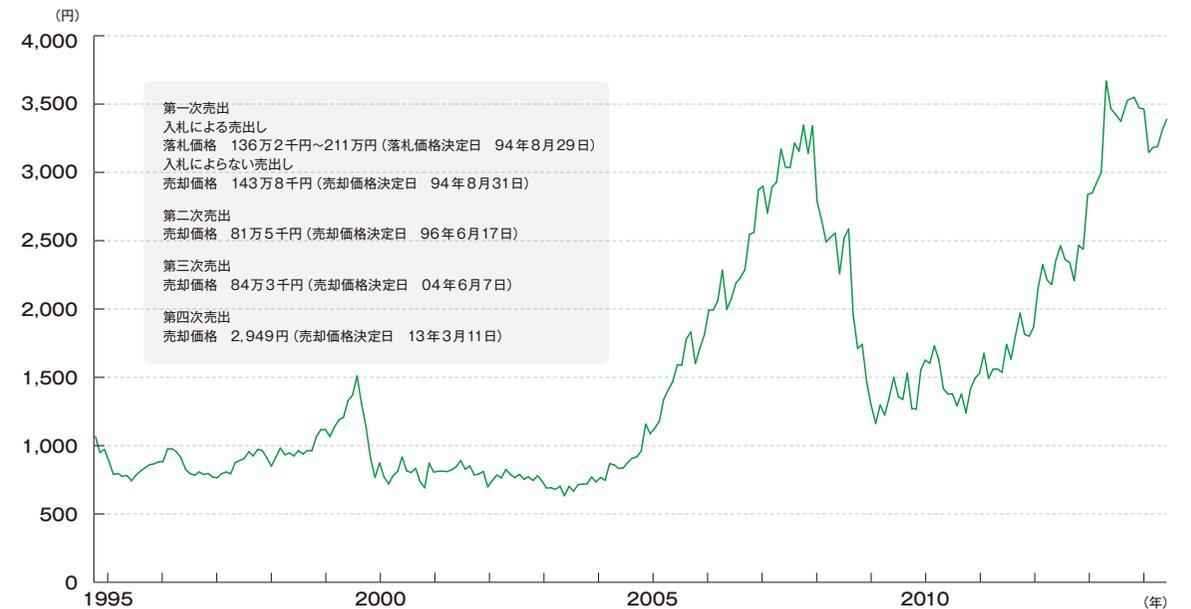
常勤監査役	中村 太
常勤監査役	湖島 知高
監査役	上田 廣一
監査役	今井 義典

執行役員

社長	小泉 光臣
副社長	(コンプライアンス・企画・人事・総務・法務・監査担当) 新貝 康司
副社長	(医薬事業・飲料事業・加工食品事業担当) 大久保憲朗
副社長	(たばこ事業本部長) 佐伯 明
副社長	(CSR・財務・コミュニケーション担当) 宮崎 秀樹
専務執行役員	(たばこ事業本部 マーケティング&セールス責任者) 飯島 謙二
専務執行役員	(コンプライアンス・総務担当) 千々岩良二
専務執行役員	(企画責任者) 岩井 睦雄
常務執行役員	(たばこ事業本部 原料統括部長) 村上 伸一
執行役員	(たばこ事業本部 渉外責任者) 山下 和人
執行役員	(たばこ事業本部 R&D 責任者) 米田 靖之
執行役員	(たばこ事業本部 製造統括部長) 佐藤 雅彦
執行役員	(たばこ事業本部 中国事業部長) 川股 篤博
執行役員	(たばこ事業本部 事業企画室長) 福地 淳一
執行役員	(医薬事業部長) 藤本 宗明
執行役員	(医薬事業部 医薬総合研究所長) 大川 滋紀
執行役員	(飲料事業部長) 松田 剛一
執行役員	(CSR担当) 永田 亮子
執行役員	(人事責任者) 佐々木治道
執行役員	(財務責任者) 見浪 直博
執行役員	(コミュニケーション責任者) 前田 勇気
執行役員	(総務責任者) 山田 晴彦
執行役員	(法務責任者兼 法務部長) 廣渡 清栄
執行役員	(企画副責任者) 筒井 岳彦

株価の推移

1994年10月27日上場～2014年5月 当社株価(東証終値、月間)



※2006年4月1日を効力発生日として1株につき5株の割合、また、2012年7月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を実施しました。株価は調整後株価を示しています